

## 時の神秘に魅せられてアーティストに転身した建築家

1984年、カンタン・カルナイユはフランス北部のルーベで誕生。幼い頃は勉学の才を表したことはなかったが、ベルギーで建築を学んでいる時期に芸術的な才能が開花した。

卒業前年の2008年、24歳の若き建築家は、父への贈り物としてカフスポタンを制作。それは、1930年代の機械式腕時計のムーブメント2個を使ったものだった。1か月後、著名なアンティークディーラーのアルカ氏がパリの「ルーヴル・デ・アンティークール」に構える、店のショーケースにそのカフスポタンが並ぶことになる。

卒業後、カンタン・カルナイユは販売や財務、法務の分野でさまざまな職業訓練を受け、起業家を目指した経験を積んでいった。

それと並行して次々と生み出される作品はやがて、自身初の展覧会として実を結び、アートの分野で受賞を重ねた。そしてある賞で、ブランド「メゾン・ド・モード」の目に留まり、フランスのリールで自らのワークショップ兼店舗を開くこととなった。それから8か月間、店の地下に寝泊まりして昼夜仕事に励んだという。

若きアーティストは、次第に時間の概念を熟考するようになり、無限性や相対性といったテーマへと傾倒していった。「時間は存在しない」とカルナイユは語る。「何かの形を与えたいという、人間の止まない欲求が生み出したただの幻なんだ。」また、腕時計製作と建築には関連性があるとも言う。カルナイユは自身の哲学やアーティストとしての道を追求しながら、彫刻を通してさらにその関連性を掘り下げていくのだろう。

## 彫刻

浮遊、錯視、動き。ヴィンテージ腕時計の部品を無数に集めて作られた作品には、カルナイユの想像力が表れている。見る者を捉え、魅了し、つねに形而上学的な側面を持つ作品群だ。それはまるで、腕時計製作の黄金時代に作られた古い時計たちを讃える記念碑のようにも見えるだろう。

### 「アペザンテュール」(APESANTEUR II)

計時の原点である天文学を彷彿させる彫刻。星々の観測ほど、我々を魅了し続けてきたものはない。数千年前、天文学は人類史上最高峰の発明に結びついた。それが時の概念だ。

人類は火を我が物とし、車輪を発明したが、精神が生み出す時の概念は目に見えない。それでもやはり、人類の進歩には欠かせない存在である。

「アペザンテュール」(無重力)は、星や惑星のように飛び、浮かび、漂う彫刻だ。それは、100年前の機械式腕時計の小さな部品を無数に集めて作られた、浮遊する円盤。カルナイユはまず、時計師やアンティークディーラーたちの協力を得て、ヴィンテージの腕時計を数多く入手した。

そして強力な磁石を使い、自身の彫刻に使える、磁性を持つ小さな部品を選び出していった。天文学と機械式腕時計製作の間にある、目に見えないつながり。それが「アペザンテュール」なのだ。

### 限定エディション(48点)

黒檀の台: 36.5 × 28 × 12 cm

詳細お問い合わせ:

Juliette Duru, MB&F SA, Rue Verdaine 11, CH-1204 Genève, Switzerland

メール: [jd@mbandf.com](mailto:jd@mbandf.com) 電話: +41 22 508 10 36

台上に浮遊する彫刻: 直径 13cm、厚み 2cm

**販売価格: 13,500 スイスフラン**

「アンフィニ」(INFINI)

時と無限性は、人間の頭脳の複雑さを表す2つの逆説的な概念だ。時の概念は、精神が生み出す。では、無限が存在するならば、時間にどんな意味があるのだろうか。

光学現象を応用したこの作品は、時と無限性、2つの概念の対立を連想させる。「アンフィニ」(無限性)は腕時計の彫刻16個から成っており、各彫刻には、磁力で接着されたヴィンテージの小さな時計部品が無数に使われている。それが、果てしのない像の中に浮かんでいるのだ。16個の彫刻は、背景の鏡の中で自己の静止像を永遠に反復しており、あたかも時の中で凍りついているように見える。時間と無限性が共存している、類まれな作品だ。

限定エディション(12 点)

LED 6 個、アルミニウムの内張、洋ナシ材の外縁(黒に着色)

寸法: 82×82×12cm

**販売価格: 19,500 スイスフラン**

詳細お問い合わせ:

Juliette Duru, MB&F SA, Rue Verdaine 11, CH-1204 Genève, Switzerland

メール: [jd@mbandf.com](mailto:jd@mbandf.com) 電話: +41 22 508 10 36